

# 全国中学大会

第6日

全国中学校体育大会第6日は21日、福島市のとうほっぴんスタジアムなどで行われ、陸上

# 明德連年の3位

ソフトテニス

(旭川市花咲スポーツ公園 テニスコート)

▽男子団体準々決勝

明 徳 2-0 宇 横 薙 芝

取手 1-2 清明学園  
茨城 2-1 (東 宮)  
上青木 2-0 明 徳

▽同準決勝

木福 本見 4-1 太中 田嶋  
添 田 4-2 鈴安 木藤

竹之内 4-1 木福  
桐山 4-2 添 林  
直井 4-2 林 田

# 「来年こそ決勝の景色を」

高知県勢初の3位で歴史を刻んだ昨年度大会から1年。今年も快進撃を続けた明德男子は準決勝で優勝した上青木(埼玉)の前に涙をのんだ。2年連続の3位にも「昨年を超えられず、悔しいっばい」と選手たち。来年こそと力を込めた。

昨年3位を知る2、3年生6人に、力のある1年生2人が加わった強力布陣で四国総体を連覇。遠征では強豪ぞろいの関東勢の胸を借りるなど、「県勢初の日本一」を目指して強打と堅守を磨いてきた。初戦だった前日の2回戦を1ゲームも落とさず突破し、この日の準々決勝も昨年3位の横芝(千葉)に2-0、四国総体優勝ペアの福見・木本がラリー合戦に持ち込んで相手後衛のミス誘えば、添田・林の1年生ペアも1-2から逆襲。勝負どころで持ち前のクロスをたたき込んだ。

しかし、決勝への壁は厚かった。上青木は7月の遠征で対戦していたが「その時とはプレーの質が違った。両ペアとも接戦の中でミスを突かれ後手に。」攻守の引き出しが多彩で、少しのミスも逃してくれない」と主将木本。力の差を痛感した0-2だった。

新チームは全中の3試合を経験した1、2年生3人で始動する。連年の3位に貢献した2年福見は「先輩たちの思いも受け継いで、来年こそ決勝の景色を見ます」。手応えと悔しさを糧に、さらなる高みを目指す。(横田幸成)

男子110斤障害は岩本咲真(福岡・八屋)が13秒51、女子100斤障害は香取奈摘(茨城・三和)が13秒42と、いずれも中学新記録で制した。

高知県勢は、ソフトテニス男子団体の明德義塾が準決勝で敗れたものの、2年連続の3位。軟式野球の明德も準決勝で敗れて3位になった。

卓球は団体の男子明德と壬佐女がともに準決勝進出。女子の明德は敗れて4強入りはならなかった。

た。男子シングルの斎藤俊太郎(明德)が準々決勝に進んだ。

相撲の明德と野市はともに決勝トーナメントに進み、野市は1回戦で、明德は2回戦で姿を消した。

陸上の女子100斤9、16位決定戦(B決勝)に出場した岡林沙季(真安杏)は7位でレースを終え、全体の15位だった。



ソフトテニスの男子団体が2年連続となる3位に入った明德の選手たち(北海道旭川市花咲スポーツ公園テニスコート)